

社会福祉法人 一れつ会

法人理念 「一人も泣く人のいない、一人残らずの人が喜ぶ社会づくり」

～経営の基本方針～

①職員を大切にして、仕事と生活の両面が満足できる法人を目指します。

職員への情報公開を行い、職員同士が公私ともに信頼し、支え合える環境、仕事の取組み方等を見直すことで、職員が働きやすい職場環境へ改善し、仕事の質の向上、利用者支援の質の向上を目指します。

②地域に認められる事業（社会貢献）を目指します。

様々な行事や企画を通して、職員が地域の方々との関係性を作り、地域に認められ、信頼していただけるような取り組みを目指します。

③常に一人ひとりが本気になる集団になることを目指します。

基本技術をしっかり身に付けた上で、職員自らが常に情報へのアンテナを立て、常に変化（進化）することができる職員集団を目指します。そして、一人ひとりが「自らが考えていることが相手に伝わる」組織を目指します。

④総合的な福祉サービスの事業展開を図ります。

事業を継続的、安定的に実施し、総合的な福祉サービスの展開を目指します。

～基本的な指導の指針～

叱らない教育実践

叱ってなおるなら、とうになおっている。決して叱っても良くはない。"叱るより、ほめよ"というとおり、ほめる、認めるべきである。叱ることの必要な時はある。しかし、叱るよりは、言い聞かす、注意するということが原則とすべきであろう。

指導・教育において抑圧・強制は必要ない

各自の特性・特技を十分発揮できるよう援助し、自主性・自発的な学習態度を指導し、生活に喜びと希望を持ってもらえるように努める。

自信回復

ほとんどの人が、兄弟・姉妹と比較され「あなたは どうして、そんなことぐらい出来ないの?」といった様に比較され自信を失っている。本人だけしかない個性・感性を認めよう。

社会経験を多くする

乗りものを使って町に買い物などをして、いろんな刺激を受ける。

自主性・自発性を養う

自分のやることを決意して、行動することができるように援助することが大切である。やる気を引き出す。

受容する

人それぞれが持っている個性の意味を理解し、受け入れることである。反社会的な行為自体許されるべきことではないが、そういった、反社会的行為に導かれるに至ったその人なりに特有の個別的な事情があるということを認め、受け入れることである。

法人メッセージ

私たちは、障がい者のみならず、生きにくさに悩んでいる人、そして大切な同僚の寂しさや苦しみに寄り添い、泣き笑いの人生を共に歩みながら、希望という未来に橋を架ける仕事をしたいと願っています。自分も人も大切にできる人、自らの可能性を信じて努力する人、仲間のために一緒になって汗を流し頑張ってくれる人。そんなアナタの挑戦をお待ちしています。

職員数（2020.2月時点）	職員数：242人（正規職員228人（正規比率94%）、非正規職員14人） 平均年齢：39.0歳 平均勤務年数：8.3年 男女比：（男性）112名（46.3%）：（女性）130名（53.7%）
新規入職者の採用実績及び定着状況	令和元年度：全体 採用17人うち在籍15人（新卒のみ 採用11人うち在籍10人） 平成30年度：全体 採用27人うち在籍23人（新卒のみ 採用10人うち在籍10人） 平成29年度：全体 採用21人うち在籍18人（新卒のみ 採用9人うち在籍8人）
直近3年平均の離職率	5.3%（2018年～2020年2月末 平均）

人材育成方針・研修等の実施状況 (主な研修名・内容など)	必要な人材とは、「倫理観（道德観）」、次に「知識+技術」、そして体力・気力の備わった人。すなわち、これらのバランスのとれた総合力のある人です。私たちの仕事は資格や専門的知識以上に、感性と人間性（道德観）が問われるものと考えています。入社時に必ずしも資格や経験を問うものではなく、初めての方も大歓迎です。ここをスタートとし、将来の日本の福祉を担う人が1人でも増えてくれることを願っています。しかし、これは何も資格や専門の学習を否定するものではなく、勉強を大いに推奨するものです。就職すると苦難や問題に直面した時、感性や人間性だけでは解決できない多くの経験をするようになります。是非、自分の弱さを補い、強みを活かしたスキルを磨きましょう。「研修」は、適材適所の「処遇」と業務・実績の「評価」と三つ巴の核となる人材育成の重要な柱の一つです。研修には法人内研修、法人外研修、そして昇進昇格の為の研修があります。研修内容は下記の内容になり、これらは人が家族や社会の中で健康で円滑に生活していくために必要なものとも言えます。まずは広く基礎を学び、そして、経験とともに自分の強みを見つけ、一つの専門性をもったプロフェッショナルになって下さい。一人が100の知識を持つのも頼もしいことですが、100人で100の知恵を共有し、チームワークで取り組むことが当法人の基本姿勢になります。 【施設内研修】 採用内定者研修・介護技術研修・救命救急講習・感染症予防・障がい特性（自閉症）・てんかん・精神疾患・対人技術・問題解決技術・療育・虐待防止研修等 【施設外研修】 福祉職員キャリアパス対応生涯研修（初任者、中堅、チームリーダー）・メンター養成研修・スーパーバイザー養成研修・防災安全研修・介護基礎技術向上研修・人権擁護研修・クレーム対応研修・感染症予防研修・相談支援従事者研修・サービス管理責任者養成研修・強度行動障害支援者研修・社会保険・労働保険セミナー・新会計実務セミナー等
人材育成を目的とした 面談の実施	自らの業務内容を半期で振り返り、業務内容・改善を報告するとともに、上位者と面接を行うことで、育成指導をしています。
キャリアパス制度の導入	一れつ会では人材育成を目的に「キャリアパス制度」を導入し、昇給・昇格に連動させています。各等級・役職ごとに法人が求める職員像を明確にし、早い人は30歳代での管理職も夢ではありません。努力した人が正しく評価され、報われる職場を目指しています
資格取得に対する支援	入職してから業務に関わる資格を取得した人数：138人 (過去10年間実績) 支援内容：①異動や職員配置上必要な資格を取得することになった場合、あるいは該当業務の担当期間中に更新手続きや上級資格の認定を受けるための研修は、法人が受講料等を負担し、出張扱いとしています。しかし、該当する職を離れてから更新等の手続きをする場合の費用は自己負担になります。 ②社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・保育士・社会福祉主事・調理師・管理栄養士・介護支援専門員・看護師を在籍中に取得した場合は資格取得報奨金を支給します。
給与体系又は給与表の導入	職員の給与は、基本給、諸手当、賞与並びに退職金とする。 役割等級ごとに定める範囲で設ける。 中途採用者及び前歴換算の必要のある者については別途基本給を設定する。

採用情報	初任給月額（個別手当を含まず）	生活支援員 大学卒：200,400 円 短大・専門卒：183,500 円
	賞与月数	2017～2019年度 4.9 か月/年 但し、採用年度は2.0 か月/年になります。
	手当	1) 時間外手当 2) 扶養手当：(国家公務員に準ずる) 3) 通勤手当（距離により上限月額 50,000 円） 4) 住居手当：(家賃により上限月額 27,000 円) 5) 宿直手当・夜勤手当：(1 回 4,800 円) 6) 役職手当 7) 年末年始勤務手当
	保険	1) 労災保険 2) 健康保険 3) 雇用保険 4) 厚生年金保険
	給与モデル（個別手当を含まず）	入職1年目 基本給 200,400 円 月額 253,600 円 年収≒3,428,600 円 入職5年目 基本給 225,700 円 月額 284,900 円 年収≒4,417,400 円 入職10年目 基本給 254,200 円 月額 345,400 円 年収≒5,269,500 円 モデル) 大学卒、宿直業務有、賃貸住宅。1～5 年は独身。 10 年目は、主任手当、扶養手当（配偶者・子ども 2 人）含む。
	説明	キャリアアップ制度では、概ね 10 年勤務することで指導職（主任等）となり、等級アップ及び手当の支給がなされる仕組みです。又、社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士の資格取得者はキャリアパスの要件で優遇しています。
勤務形態	7：00～22：00のうち8時間労働（但し、通所系は基本的に8：30～17：30） 入所系は当直業務または夜勤業務があります。	
一人暮らしの方	住まいについて職員寮はありませんが、不動産から勤務地付近の賃貸物件を紹介してもらい、内定者説明会時に情報提供をしています。家賃の相場はワンルームで平均 4.5 万円、1LDKで平均 5.5 万円です。家賃補助で半分弱支給されます。例）家賃 5 万であれば家賃補助 24,500 円になります。	
休日制度 労働時間縮減の取組 等	有給取得平均日数	7.1（年間）（2018 年度実績）
	超過勤務平均時間	6 時間（月）
	年間休日日数	112 日
	休日制度等の特色	勤続10年特別休暇2日。勤続15年特別休暇3日。 勤続20年特別休暇5日。勤続25年特別休暇8日。 勤続30年特別休暇12日。
職員の福利厚生（独自制度）	○退職金制度（福祉医療機構退職手当共済事業と広島県社会福祉協議会社会福祉従事者互助会事業） ○職員研修旅行 ○ソウエルクラブ加入（健康管理、慶事の祝いや弔慰金・見舞金の支給や職員の資質向上のための各種講習会や研修、指定保養所等のサービス、ローンや各種保険等の生活支援） ○有給取得は1時間単位での取得が可能。 ○有給休暇は勤続年数6ヶ月未満の場合、採用2ヶ月後より2日とする。 ○職員互助会という福利厚生組織有り。また、職員の委員会組織の中に企画委員会が設置され、「事業所の垣根を超えた職員（家族含む）同士の親睦」を目的に掲げ、職員歓迎会（花見）、ソフトバレーボール、ソフトボール、地域のまつり出店、忘年会、新年会等々を企画しています。 ○インフルエンザ予防接種 職員補助あり	
育児休業の取得実施	育児休業制度	あり
	育児休暇取得者数	男性：0 人、 女性：10 人（2019 年度実績）

社会福祉法人一れつ会の トライアングル ネットワーク

社会福祉法人一れつ会は、法人本部がある福山市北部の「加茂地区」、福山市の中心部にある「三吉地区」、福山市東部にある「春日地区」の3エリアがトライアングルに位置し、障がい者支援にあたっています。その他、福山市内の11カ所にグループホームが点在し、他の事業所と連携して、障がい者のみならず地域づくりの支援活動を行っています。

《 加茂地区 》

加茂地区には、法人本部の他に以下の4つの施設と居宅介護、相談業務など17の事業を行っています。また、宿泊体験や実習生の宿泊の場として「コミュニティホーム加茂」があります。

■『**せんだんの家**』 1988年4月1日開設、**事業種**：生活介護（定員26）・就労継続支援B型（定員24）、**特徴**：法人の最初にできた通所施設です。主な活動は原材料にこだわった「クッキー」や「パウンドケーキ」「スノーボール」等の製造販売、4町歩（12,000坪）にも及ぶ田畑の農作業、その他、企業からの袋詰めや組立などの委託作業を行っています。また、地域に一人でお住まいの高齢者を対象に、布団乾燥消毒の支援を行っています。



■『**いこいの家**』 1994年4月1日開設、**事業種**：施設入所支援（定員50）・生活介護（定員50）、短期入所事業（定員14）・日中一時支援（定員30）、**特徴**：いこいの家は利用者の家として、日中は創造活動やレクリエーション、小グループ旅行などの生きがいづくりの場として、1年365日、1日24時間を通して、泣き笑いの人生を共に歩んでいく施設です。主な活動は「さをり織り」と「手漉き和紙」のオリジナルティ溢れる商品をフジグランほっとや『個展』などで展示販売しています。その他、地域でお住まいの方を対象に短期入所事業や、日中一時支援事業を行っています。



■『**ウイズ**』 1999年4月1日開設、**事業種**：就労継続支援A型（定員20）、**特徴**：ウイズは法人で唯一、利用者が雇用契約の下で働く場を提供している事業所です。専門的知識と技術を持ったスタッフによる製版と印刷と企業の委託作業、原材料と味にこだわった「豆腐」の製造や「菌床シイタケ」の栽培も行っています。



■『**ほほえみ**』 2002年4月1日開設、**事業種**：生活介護（定員30）、**特徴**：ほほえみの特徴は、特殊浴槽を設備している点です。常に介護を必要とする身体的障がいのある方に入浴や排せつ、食事などの介助と創造的活動や行事を通して社会参加ができる場を提供しています。また2階のサンルームには喫茶コーナーがあります。



■『**居宅介護支援センター 和らぎ**』 2003年4月1日開設、**事業種**：居宅介護・行動援護・重度訪問介護・移動支援事業、**特徴**：スタッフがご家庭に訪問し、入浴・排せつ・食事等の身体介護や家事援助、通院や買い物等の外出支援を行います。

■『**ほっと**』 2008年4月1日開設、**事業種**：一般相談支援事業・特定相談事業・障害児相談事業・福山市障がい者相談事業、**特徴**：計画相談、障害認定調査の他、生活相談や利用できる社会資源等の相談などソーシャルワークを活かした多種多様な相談や支援計画を行っています。

《 春日地区 》

春日地区では2つの施設で8事業を行っています。

■『**春日寮**』 2005年4月1日開設、**事業種**：施設入所支援（定員50）・生活介護（定員50）・短期入所事業（定員13）・日中一時支援（定員20）、**特徴**：法人では2番目の入所施設です。ゆったりとした環境と個室、個人浴槽などより個人を重視した新しいタイプの施設です。同一敷地内の「春日ショップ」では利用者の制作した作品展示の他、植物をはじめ様々な商品を販売しています。



■『**青葉**』 2007年4月1日、**事業種**：生活介護（定員28）、就労継続支援B型（定員20）、**特徴**：平屋建てに作業場や浴室がゆったりと作られた事業所です。作業は主に外部での清掃作業（施設外就労）や、企業からの委託作業、木工、陶芸など利用者個々に合った活動を提供しています。また、別棟として「自立訓練棟」があります。



《 三吉地区 》

福山市中心部に位置した単独の事業所です

■『**しんぷおにい**』 2005年4月1日開設、**事業種**：就労継続支援B型（定員14）・生活介護（定員26）・日中一時支援（定員10）、**特徴**：福山市街中心に位置し、4階建ての建物です。浄土真宗と提携して全国のお寺に煎餅を製造・販売しています。外部での清掃事業（施設外就労）も行っています。



《 共同生活援助事業 》

■『**いずみ**』 1996年から開設し、現在、福山市の11カ所にグループホームが点在しています。ホームでは世話人と支援員、そして通所事業所等と協力して支援を行っています。

社会福祉法人 一れつ会

【法人本部】 広島県福山市加茂町上加茂 8 1 1

☎（084）972-5544